

対 策 計 画 書

届出者	住所	京都市中京区西ノ京東梅尾町8番地	氏名	学校法人立命館 理事長 森島 朋三
特定事業者の主たる業種		81学校教育		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		主に大学の運営を行っており、大阪府内には原油換算燃料等使用量で1,500キロリットル/年を超えるキャンパス1つと、超えないキャンパス1つを所有している。		

◎ 温室効果ガスの排出の抑制に関する目標

(1) 計画期間			
2019 年	4 月	1 日	～ 2022 年 3 月 31 日 (3年間)
(2) 基準年度における温室効果ガス総排出量		3,782 t-CO ₂	
基準年度における温室効果ガス総排出量 (平準化補正後)		4,149 t-CO ₂	
(3) 温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量)		3,882 t-CO ₂	
温室効果ガスの削減目標 (目標年度の対策後排出量(平準化補正後))		4,259 t-CO ₂	
選択		目標削減率 (排出量ベース)	%
レ		目標削減率 (原単位ベース)	3.0 %
		目標削減率 (平準化補正ベース)	3.0 %

目標削減率に関する考え方

本計画書では、延床面積を母数に排出原単位を設定し、目標年度である2021年度において、大阪府内における温室効果ガスを原単位ベースで3%削減する目標とします。

本計画期間中には、空調機屋外機の冷却装置設置や遮熱フィルムの更なる貼付による空調負荷の低減に取り組むことで温室効果ガスの排出量削減を計画しています。

植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量			
目標年度における吸収量	t-CO ₂	吸収量による削減率	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容 (目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(延床面積)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

総長を委員長とする立命館地球環境委員会(2回/年)において、進捗状況を点検・管理する。